

◆今期間のポイント

<主要じょう乱の概要>

- 台風第23号については最新の台風予報を参照。
- 14日は、沿海州付近の高気圧が日本の東へ移動し、前線が朝鮮半島から日本海にのびる。日本の南から東シナ海は高気圧に覆われる。
- 15日は、北日本を気圧の谷が通過し、前線は東・西日本付近に停滞する。
- 16日から17日にかけて、大陸の高気圧が移動性となって北日本を通過して日本の東へ移動する。前線は東・西日本を東進する。
- 18日は、高気圧は日本のはるか東へ移動し、日本付近に気圧の谷が進む。

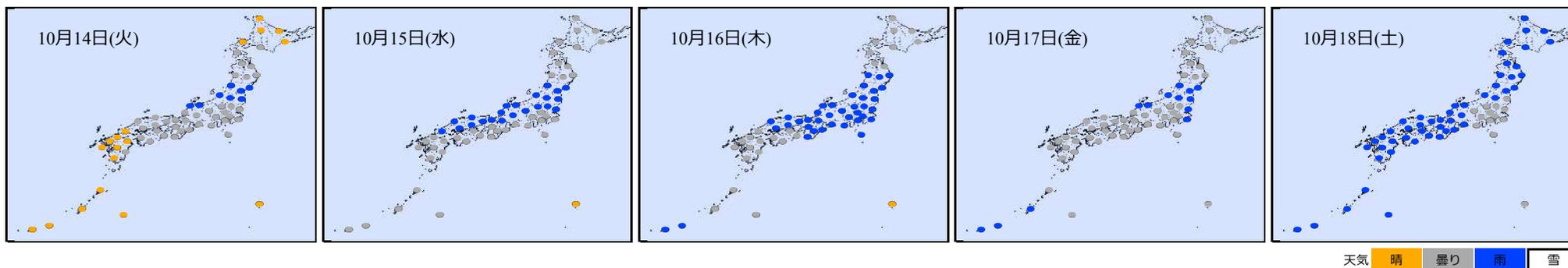
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- なし。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

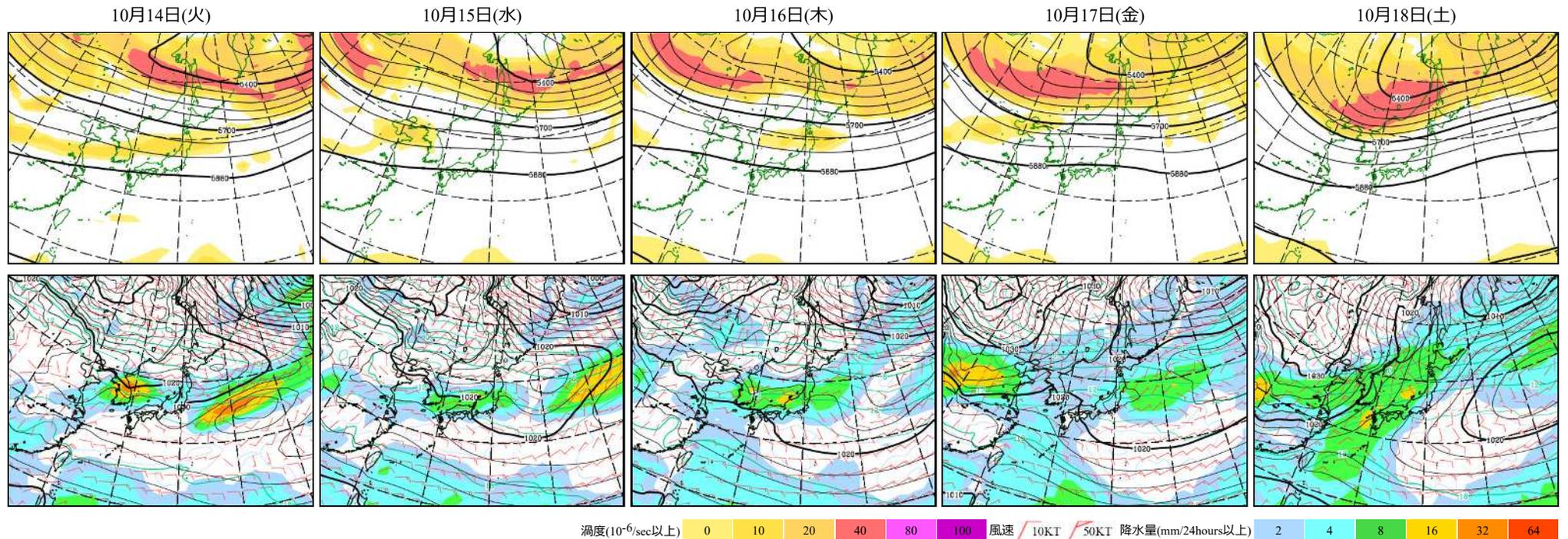
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

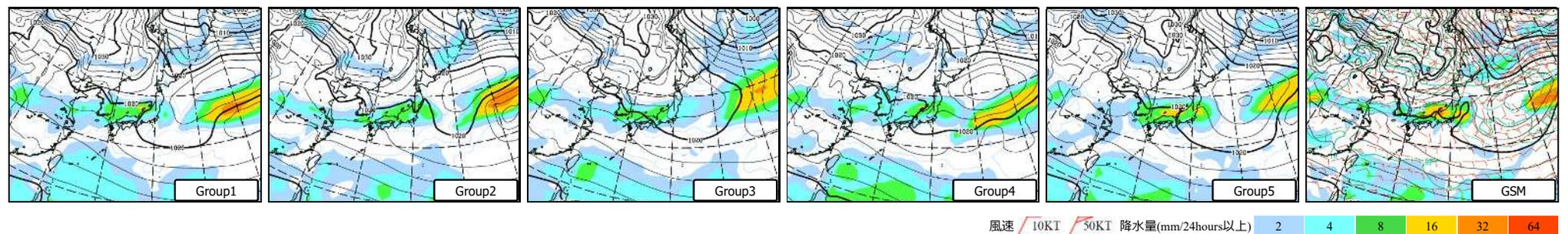


- 北海道地方は、曇りまたは晴れの日が多いが、18日は雨となる。
- 東北地方と東日本は、曇りや雨の降る日が多い。
- 西日本は、晴れる所もあるが、雲が広がりやすく、雨の降る日もある。
- 沖縄・奄美は、14日から15日は晴れまたは曇りとなるが、16日から18日は曇りや雨となる。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆10月15日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料 (ENS) は、北緯40度以北の東西の流れに初期値変わりがある。16日から17日はリッジが北日本を進む予想になった。地上の気圧配置の予想は、17日から18日に日本付近を通過する気圧の谷の進みが遅くなった。
- 本日の資料は、15日の千島近海のトラフが深くなり、16日以降のトラフ・リッジの予想が初期値変わりしているモデルが多いが、モデル間のバラつきは昨日よりも小さくなった。
- 15日は、各モデルともに日本海にのびる前線の位置が昨日資料より南寄りになった。ENSもほとんどのメンバーが同様の予想をしている。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。